

# 海況速報（クロロフィルa分布）

平成27年1月26日

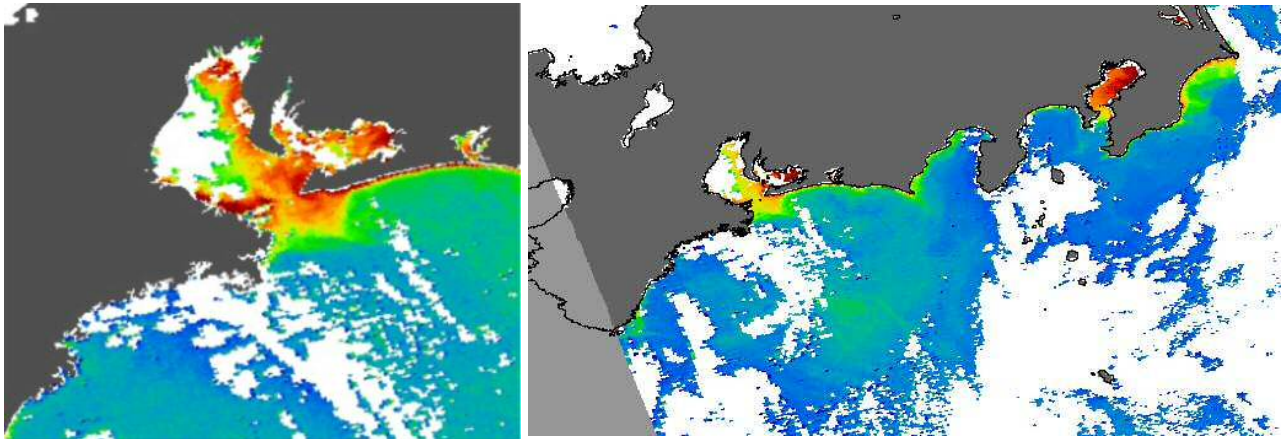
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1月23日の人工衛星クロロフィルa画像によると、クロロフィルa濃度は伊勢三河、両湾内で高くなっています。湾口域から赤羽根沖まで、生産性の高い内湾系水が張り出しています。広域図では、熊野灘のクロロフィルa濃度が低くなっており、黒潮系水が流入していることが分かります。

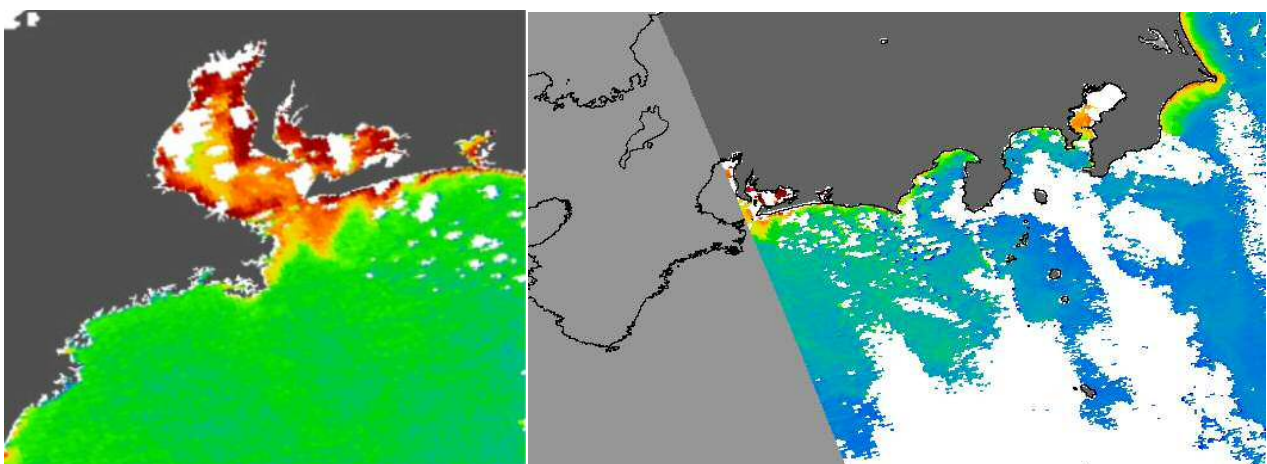
※黒潮はクロロフィル濃度が低く（生産性が低い）、濃青色で表示されるため、海色の違いから黒潮流路の推測を行うことができます。

（宇宙航空研究開発機構（JAXA）／東海大学（TSIC/TRIC）提供のMODIS画像）

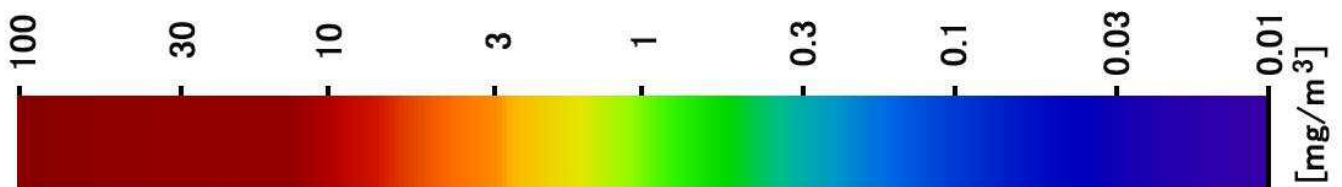
平成27年1月23日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



平成27年1月16日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



画像表示色とクロロフィル濃度の関係



# 海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成27年1月26日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（宇宙航空研究開発機構（JAXA）／東海大学（TSIC/TRIC）提供）。1月23日までのデータ

